

「芽でるネット」は女性の社会的・経済的自立を段階的に支援するために
起業・就労活動を応援する専用ルームです。

R8.1.24(土)
開催

事業紹介
参加無料
女性起業芽でる塾 公開講座

午前 先輩女性起業家 講演会

時間:10:00~12:00 講師:荒屋亜紀子さん
対象:テーマに関心のある方 (料理教室とランチの店 あらや食堂 店主)
場所:おでつて大会議室 ファシリテーター:田中紳也さん
定員:30人 (盛岡信用金庫 営業推進部 営業推進部 兼 地域応援課長)



講演会の申込はコチラ

午後 チャレンジショップ
連続講座受講生と先輩女性起業家によるマーケットです。
申込不要。ご自由にご参加ください！
詳細は芽でるネットInstagramで確認を♪
時間:12:00~15:00
場所:もりおか女性センター生活アトリエ(5階)
起業支援ルーム 芽でるネット(1階)

起業支援ルーム 芽でるネット
起業や就労に関する個別相談、
パソコン操作のサポート(有料)等も行っています♪
開室時間 月曜日~金曜日
10:00~12:00/14:00~17:00
休室日 土日祝、毎月第2火曜日、年末年始
場所:プラザおでつて1階
電話:019-604-3303
詳細や最新情報は
Instagramを
チェック!
お気軽に
お立ち寄りください

相談 受付電話 019-604-3304 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
相談開設時間 月・火・金 10:00~17:00
水・木 10:00~20:00

●女性相談
女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。電話相談と面接相談があります(予約の方優先)。また、ホームページの相談フォームからメール相談も受け付けます。

●男性相談
男性の相談員による電話、もしくは面接相談。
予約が必要です。原則毎月第2土曜日に実施予定。
場所などの詳細はホームページでご確認ください。

●LGBT相談
電話相談のみ。予約が必要です。
詳細はHPを
ご覧ください



もりおか女性センター
ニュースレター
News Letter

No.114
2025.12

特集
戦後80年

- 事業報告
もりおか女性センターフェスティバル2025
- 戦争関連の図書紹介



特集

戦後 80年

戦後80年の今年、もりおか女性センターでは、「戦争と平和、そしてジェンダー平等」について考えます。

私たちの社会がより平和で公正なものになるためには、依然として解決すべき課題が山積しています。世界では今も武力紛争や難民問題が続き、日本でもDVや児童虐待など身近な暴力の問題が深刻です。SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標16「平和と公正をすべての人に」。誰もが安心して自分らしく生きられる社会をめざし、「ジェンダー平等なくして平和なし」をテーマに一緒に考えてみませんか。

事業報告

もりおか女性センターフェスティバル2025

無料映画上映会

「黒川の女たち」

(2025 | 日本 | 99分 | ドキュメンタリー | 監督:松原文枝)

今年度のテーマは「戦争と性暴力」

戦争の根幹には暴力があります。特に戦時性暴力は、平時からのジェンダー的差別意識から発生します。戦時性暴力は長らく、「悪いことではあるが仕方のないこと」とされてきました。この意識が大きく変化したのは1990年代以降のことです。「もりおか女性センターフェスティバル2025」で上映した映画「黒川の女たち」ではこのような、「**なかったことにされてきた事実**」が当事者からの証言によって鮮明に語られています。

満員御礼
たくさんのご参加
ありがとうございました!



メッセージ動画を 上映しました!

上映後には、今回のために特別に収録した、松原文枝監督と上野千鶴子さんからのメッセージ動画もご覧いただきました。

印象に残った言葉の一部を、ここでご紹介します!

松原文枝監督

彼女たちはずっと声を上げ続けてきていてそれをようやく社会に受け止められ、私たちも受け止めて、こういった史実が刻まれることになった。

私はよく「共同作業です」と言っている。私もその一角でしか無いのですが今日ご覧いただいた皆様にもその一角としてこの声を大きく受け止めて届けていただければと思います。

上野千鶴子さん

皆さん覚えといてください。性暴力というのは“被害者の恥”じゃなくて“加害者の罪”だというこの認識の変化を作り出したのは、勝手に起きたわけじゃないんです。『女性運動』がこの変化を作り出したんです。

皆さん方にはこれを見た責任、聞いた責任というのがあります。これを知ったあなたの責任を果たして、次の方たちに繋いでいっていただきたいなと思います。

図書紹介

松原文枝監督の著書

平和について考えるきっかけになる本を3冊ご紹介

図書コーナーにはたくさんの関連図書があります。ぜひお立ち寄りください!

『刻印 満蒙開拓団、黒川村の女性たち』

松原文枝 著/KADOKAWA/2025年
あった歴史を刻むのはなぜ難しいのか、なぜ必要なのか

なぜ「あったこと」は「なかったこと」にされてきたのか。歴史に残すことが何を生み出すのか。2018年に放送されたテレビ番組は大きな反響を呼び、2025年夏、映画化。著者はディレクターとして、映画監督として黒川に足を運び続けた。共同体が史実を認め、女性たちが尊厳を回復するまでを描くノンフィクション。



『エトセトラ VOL.12 特集:戦争をやめる』

エトセトラブックス 著/エトセトラブックス/2024年
『止めようとしたのに』と、あとから言いたくない。』

戦争と平和をフェミニズムの視点から考える1冊。これまで戦争に抗い続けてきたフェミニストたちの経験と、反戦の意思が綴られている。研究者や活動家、アーティストの声から『戦争をやめる』という言葉が単なる願いではなく、自分の生き方や日常と繋がっていることに気づかせる。



『へいわとせんそう』

たにかわしゅんたろう 文 Noritake 絵/ブロンズ新社/2025年
へいわのだいちにも、せんそうのたねはねむっている!

平和と戦争を比べながら、わたしたちの「今」と「未来」について考えさせてくれる、大人にも子どもにも読んでほしい、大切な事が詰まった1冊。

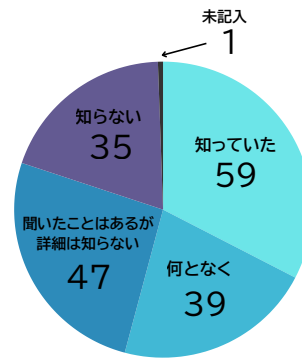


アンケートの協力を いただきました!

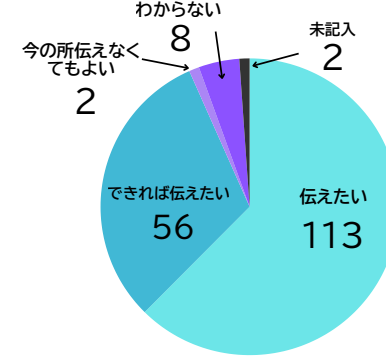
181人の参加者のみなさんありがとうございました!

メッセージ動画を観たあとの意識の変化があったか聞いてみました!

①映画で描かれていた「戦争と暴力」の事実について、ご存じでしたか?



②この映画を観て、知ったことを誰かに伝えたいと思いましたが?



●先の戦争では、広島・長崎の原爆被害をはじめ、被害の情報は詳しく伝えられているが、加害の事実はあまり語られていないと思います。満蒙開拓団で「接待」という性暴力が行われていたということを初めて知り、認識を新たにしました。

●知らなければいけないことがある。これを知った私の責任について考えていきたいと思います。

●全く知らない事実に基づいた映画を上映して下さった事に感謝です。加害と被害、色々考えさせられました。声を上げてくれなかったら、又それを何とか残さなければと動いて下さった方々の勇気と行動に敬意。声を上げる事が大切だということがよくわかりました。

参加者からメッセージを いただきました

たくさんの想いのこもったメッセージありがとうございました♡

映画を観た感想や、声をあげた女性たちへのメッセージ



●弱い立場の人達の歴史を知ることは難しいですが、発信してくれる人達が多く出てくれることを期待します。それを私達はしっかり受け止めて伝えていきたいです。

●なかったことにできない、悲惨な事実、多くの方と映画で共有できました。我々に託されたこと、戦争のない平和な日常。

●「知ること」と「伝えること」は男性だから、女性だから、大人だから、子どもだからそんなの関係ない。すべての人が生きていく限り、し続けていくことなのだと思う。

●私たちはつながっているのだということを感じさせていただきました。知るためにここに来て本当に良かった。

※原文のまま掲載しています

もりおか女性センターが 伝えたいこと

「平和なくして平等なく、平等なくして平和なし」

(市川房枝さんの言葉)

ジェンダー平等とは、ひとりひとりが性別にかかわらず、平等に責任や権利、機会を分かち合い、あらゆることを一緒に決められることを意味します。戦争のない世界をつくるのが、ジェンダー平等につながっていきます。

戦後80年を迎え、今ある日常が当たり前ではないことを改めて認識する機会となりました。メッセージ動画の中で語られていた「伝えていくこと」を、大切にしながら、これからもいっしょに考え続けていきたいと思います。

施設紹介

プラザおでつて5階
交流コーナー

勉強、読書、食事、おしゃべりなどフリースペースとしてご利用いただけます。お席は予約不要でどなたでも自由に利用可能です。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



アンケートのご協力 をお願いします

最後まで読んでいただき、ありがとうございました!

これからのより良い紙面づくりのために、みなさんの声をぜひお聞かせください。お待ちしております♪

